

徳島・日本カジノノ健康 保養学会発足記念講演会

Japan Casino Health Institution of Tokushima Pref.

文：日本カジノ健康保養学会 中西昭憲



15年3月に9名の有志に研究会の設立を持ち掛け、「徳島カジノ研究会」として発足した。その後、地方のカジノの展開は、ドイツの温泉保養地に見られるこじんまりとしつとりと落ち着いた街の中のカジノが望ましいと考え、16年4月に、



ドイツで見られる温泉保養地の「バーデン・バーデン」

温泉保養地とカジノを相補的に結びつけた形態「カジノ健康保養システム」を学問的に論じ合える会として「日本カジノ健康保養学会」を発足。現在20名の会員の力で出発となった。
この会は、会代表の中西昭憲が、「イギリスの社会精神医学の『治療共同体』と、



北海道大学名誉教授の阿岸祐幸先生

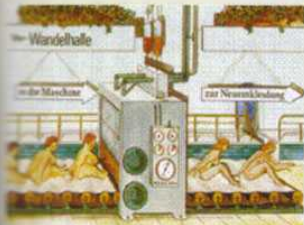
ドイツで見られる温泉保養地の「クアオルト」の概念を相補的に取り入れたシステムに、財政的支援が可能となる要素としてカジノ収益を当てることにより、地域全体が健康となり、結果的に健康老人比率を上げ、生活習慣病者が減少するであろう事を想定したシステムを研究している。
今年5月15日、ホテルクレメント徳島にて同学会記念講演会が行われ、北海道大学名誉教授の阿岸祐幸先生に「ドイツカジノ温泉保養地に見るウエルネス」、室伏哲郎・日本カジノ学会理事長に「日本のカジノ最新情報」を語ってもらった。

阿岸先生は、ドイツ留学と実践に基づき、温泉に入れば女性が美しくスマートに変身する絵画を示し、人が集まり、身も心も豊かになるドイツ温泉保養地を軽妙に語られた。

「ドイツでは、日本のような老人施設はなく、平素より健康に気を使い晩年まで元気で過ごせるような工夫に満ちた施設である。このような予防医学的生き方を『ウエルネス』と言って生活に取り入れている。地域の美化や施設の運営の裏方としてカジノ収益が還元されている。日本にドイツで見られる温泉保養地が出来ることはすばらしい」と、ドイツの温泉設備などをスライドを交えて紹介された。そして、硫化水素を含む温泉は禁煙効果があり、炭酸ガスを含む温泉の半身浴は下半身の血行改善が得られることから、精力的回復となることも述べられ温泉療法の真髄を聞かせてもらった。

室伏理事長は、カジノ・オーストリア・インターナショナルの概要を述べられ、日本の硬直化した官僚や法律が、日本にカジノ開業に障壁になっていることに触れ、沖縄地元のOGEPがカジノ・オーストリア・インターナショナルの支援を得て、カジノ特区構想を計画中で、その概要が「CASINO Japan vol.6」に特集されている旨を語られた。そして、マカオのカジノ進捗状況、タイ・シンガポールなどのカジノ構想が進行しつつある事と、日本が国際化からいかに取り残されているか、ということ熱く語られた。

この講演会には鳴門の工藤市議会議員他4名の議員と松茂町の広瀬町長ら行政の関係者ら約60名が集い、飯泉嘉門知事・古賀誠衆議院議員、徳島県の仙谷由人議員・山口俊一議員・高井美穂議員・県議の吉田忠志議員より祝電が届き、記念パーティーには、北岡秀二議員と岡本芳郎議員が参加された。



温泉に入れば女性が美しくスマートに変身する絵画